

GREEN RADAR

Vol.492
2020

5

Contents

A-Policy【重点事業方針】

・生産振興部の取組み

A-Reports

- ・県産農畜産物の消費拡大を！ 3
- ・令和2年度 会員会議を開催 5
- ・県産リンゴ加工品、機能性表示食品として商品化 6
- ・JR長野駅 在来線 改札機にステッカー広告の掲出を始めました 6
- ・『まるっとおいしく！』やさい&きのごキャンペーン 7

A-Board

- ・～旬の香り～ 美味しいお茶をあなたに！ 8
- ・JAは 食材・お薬 をご自宅までお届けします！ 8

- 令和元年度 定年退職者紹介 9
- 令和2年度 新採用職員紹介 9

- ・今月のレシピ 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・5月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



生産振興部

生産振興部の取組み

J A 全農長野生産振興部は、これまで野菜・果樹に特化した生産振興や災害に強い施設化及びスマート農業の普及推進、優良種苗の安定供給、営農指導員の支援、G A P 基準の準拠による安全安心な農産物の生産体制、技術情報誌発行など生産現場を軸に事業展開を行ってきました。今年度は、昨年の試験調査・実証の成果を踏まえながら、点から面へと取組みを広げると共に、新たな農業振興事業へもチャレンジしてまいります。

■マーケットインを起点とした生産振興（果菜類の推進）

マーケットニーズに基づいた生産振興の重点品目として、果菜類に取り組んでいます。特に、ミニトマトは昨年の試験から、接ぎ木苗の利用による収量性向上と秋口の収穫量アップの有効性が確認できました。この結果について昨年末より情報発信を行い、接ぎ木苗の定植は増加につながっています。

■気象変動に強い施設化の推進

生産安定と収量増を目指すためには、「施設化」が有効な手段となります。しかし、施設化には投資費用も掛かり、特に冬の栽培まで考慮すると雪対策が不可欠となるため、より強固な施設が求められコストが上がります。また、施設内の温度を維持する熱源対策にか

また、業務用きゅうりは、きのこ生産者が夏場対策として取り組み、評価を受けたため、本年度は更に取り組む生産者が増えています。

本年度も、いくつかの試験等を行いながら、ミニトマト・きゅうりの栽培面積・収量増に取り組んでいきます。

更に今年は、新たな品目として「ピーマン」に着目し、県下4カ所による試験を組み立てています。仕立て方、灌水対策などにより反収増加の実証を行い、既存生産者の手取り向上と新規取組みに向けた情報提供により、生産出荷量の拡大を目指していきます。

かるランニングコストも加算されます。

そのため、新規の施設設置では、既存の遊休施設などの活用を提案しています。一例として、花きハウス施設の遊休利用、水稻育苗後の後利用などが上げられます。特に、水稻育苗ハウスでは、コンクリート製地面でも栽培が可能で、隔離床（鉢っこ等）の活用も提案しています。新たに隔離床栽培に取り組む生産者もあり、広がりを見せています。今年度の成果等を収集・分析をしながら、生産拡大に向けて進めていきます。



隔離床（鉢っこ）栽培風景

■機械化・スマート農業の推進

や、日焼け防止や防雹を目的とした多目的ネット等を備えたモデル圃を県下複数箇所に設置し、実証と合わせて生産安定・収量増に取り組んでいきます。

A I やロボットなどの最先端技術の開発・商品紹介等の情報・事例は、日々多数発信されています。国も先端技術を駆使した新しい農業スタイルを提唱しています。しかしながら、現場への最先端技術導入については、本県の栽培環境や状況にも考慮した選択が必要となります。他部署機関とも連携し実演や研修会等を通して実用化に向け検



自動草刈機の実演（傾斜面も登りながら草刈り）

討を進めていきます。

機械化では、今年度は「農業用ドローン」による防除作業を実証し導入効果の検証に取組みます。また、果樹園での草刈作業における自動草刈機の活用について検討を進めます。

労働力不足による生産減を機械化により補完し生産力維持・拡大に結び付けるよう、引き続き実演・実証を踏まえて進めていきます。更に、収穫後の調整・荷造りに対する対応も重要であり、従来の市場向け規格品だけでなく、出荷形態を広げた対応に販売・営業部署とも連携してJ A と共に提案を進めていきます。



リンゴフェザー苗の生産圃場

■優良種苗の安定生産推進

所管する野菜種苗センターでは、優良種苗の安定生産体制の強化にも取り組んでいます。また、リンゴ苗木供給では、J A 出資法人に委託しフェザー苗等の生産拡大の方向で進めており、本年度は5万本のフェザー苗の生産供給に向け準備を進めています。

■安全安心な農産物の安定的な生産・供給体制の推進

J A 長野県グループでは安全・安心な農産物供給を行うため、農林水産省のG A P 共通基礎ガイドラインに完全準拠した新「長野県G A P 基準」、新「長野県適正農業規範」等にグループをあげて取り組んでいます。また、令和3年6月に食品衛生法の一部改正に伴う「H A C C P（ハサップ）」による衛生管理の義務化への対応も行政と連携して取り組んでいきます。

このように生産振興部では、これからも「持続可能な長野県農業」を目指し、農業生産現場に積極的に向き、J A と共に取組みを進めていきます。



遊休ハウス(花)利用例

県産 農畜産物の 消費拡大を!

新型コロナウイルス感染拡大により、農畜産物の消費に影響が出ています。
JA全農長野はあらゆる手段を使い、消費拡大に取り組んでいます。

■牛乳の販促活動

JA全農長野と長野県農政対策協議会は3月22日(日)、小・中学校の休校により、学校で飲めない分の牛乳を家庭で飲んでいただくこと、県内のA・コープファーマーズ店で牛乳の消費拡大を呼びかけました。乳牛は健康のために毎日搾乳しなければならず、急に生産を止めることができないため、消費者に牛乳を飲んでもらうことが生産者の支援になります。各店舗の店頭には全農長野の職員が二人ずつ立ち、「今まで、日本の酪農にエールを」と書かれたチラシとミルメークを配布しながら「牛乳を飲んでください」と声を掛けました。受け取ったお客様は「牛乳は毎日飲んでいました」「ミルメークは懐かしいですね」と受け取っていました。

また、JA長野県ビルと長野県庁では、3月下旬に購入運動を行い、多くの職員が牛乳を購入しました。県内では270戸の農家が、年間88,000トンを出荷しています。



A・コープでの牛乳の販促活動

酪農課は今後も、「安全・安心な信州産牛乳」の消費拡大に努めてまいります。

■JR長野駅前で県産農畜産物の消費拡大を呼び掛け

JA長野県青年部協議会(県青協)は3月24日(火)朝、JR長野駅前で県産農畜産物の消費を呼び掛ける街頭活動を行い、全農長野もこの活動に協力しました。県青協の役員、JA長野県女性協議会役員、各連合会の職員などが県産アルストロメリアとミルメーク、「たべよう!のもう!かざろう!」と書かれたチラシを900名に配布し、「自宅で飾ってください」と消費拡大を呼び掛けました。通勤途中の方が多く、笑顔で受け取っていました。

■アルストロメリアを買って応援

JA長野県と長野県は、花き生産者を応援しようと、アルストロメリアの購入運動を行いました。JA長野県ビル、JA東信・南信・中信会館、長野

■東信事業所管内の小中学校の 新入生にアルストロメリアの花束を 贈呈しました!

JA全農長野と東信管内JA(JA長野八ヶ岳・JA佐久浅間)は、4月6日(月)の入学式に合わせ、南佐久5町村の小中学校10校、並びに、佐久穂町立佐久穂小学校1校の合計11校の新入生333名を対象に、地元JA佐久浅間産のアルストロメリアの花束を贈呈しました。

今回は、新型コロナウイルスの国内感染拡大に伴い花の需要が落ち込み、販売単価下落による農家経営の影響が危惧されますので、県内花き生産農家を応援するため、花き消費の喚起と地元産のアルストロメリアの認知度向上を目的としたものです。

南佐久5町村の小中学校に贈られた花束は、JA全農長野のロゴマークの「三ツ山マーク」「JA全農長野」「信州力(しんしゅうりき)」に加え、「ご入学おめでとうございます」と添えられたメッセージシールが貼られました。様々なイベントが中止や延期されることで、新入生やご家族の皆様が少しでも明るい気持ちになり、もっと花

を身近に感じてもらうとありがたいです。

今後もJA全農長野は長野県系統農産物のブランディングに繋がるよう、継続的に宣伝活動を展開していきます。



■JR長野駅で 長野県産アルストロメリアの展示を 始めました!

JA全農長野は、4月9日(木)に東日本旅客鉄道株式会社のご協力を頂き、花の消費喚起と長野県産花きの認知度向上のため、アルストロメリアの展示

を行いました。

長野県は花の生産が盛んで一年中出荷されています。展示したアルストロメリアも技術や品種の改善によって年中出荷されますが、この4月は最も出荷数量が多い時期です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人が集まるさまざまなイベントの中止や店舗の休業などにより、花の消費が落ち込んでいます。展示を通して長野県の花の素晴らしさを



県庁の職員から2回にわたって予約注文を受け付け、3月下旬と4月下旬に各場所に届けました。今後も引き続きこの運動を継続していく予定です。

また、全農が運営する産地直送インターネット通販「JAタウン」へは「おいしい応援団」では3月から生産者支援緊急企画としてアルストロメリア等の特別販売を開始しています。

こちらからぜひお買い求めください
<https://www.ja-town.com/shop/c/c3801>

または 検索



多くの皆さんに見て頂き、低迷する長野県産切り花の消費喚起を図ってまいります。

花には心を癒す、季節感が出てお部屋が華やぐ、などたくさん魅力と効果があります。ご自宅で過ごす時間が長いこの機会に、ぜひ長野県産の花を楽しんで頂きたいと思えます。

■信州アルプス牛の購入運動

JA長野県と長野県は、牛肉の消費低迷を受け、肉牛生産者を応援しようと信州アルプス牛の購入運動を行いました。JAビル、JA東信・南信・中信会館、県庁、長野・松本合同庁舎より予約注文を受け付け、合計987パック(400g/パック)を各場所に届けました。

県内の肉牛生産者から丹精込めて作られた美味しい信州産牛肉を、ぜひ食卓でお召し上がりください。

令和2年度 会員会議を開催

～2,769億円の事業取扱高を目指す～

JA全農長野は3月26日(木)、令和2年度会員会議をJA長野県・ビルで開催しました。

雨宮勇運営委員会会長が議長を務め、豊田実副会長と小林哲男県本部長が事業計画を説明しました。

雨宮会長はいさつで新型コロナウイルスの感染拡大による影響に触れ「国内消費が冷え込み、農畜産物の需要が落ち込んでいます。また、外国人

技能実習生の受け入れへの支障等により、農畜産物の生産販売や流通が滞り、農村地域への影響は、今後さらに大きくなる懸念されます。行政と連携し、県産花きや牛乳の消費拡大運動等、県内生産者に必要な支援を行ってまいります」と力を込めました。

全農長野は令和2年度の総供給販売高計画を、前年度計画とほぼ同額の2,769億円とし、主な取組みは次のと

おりです。

積極的な生産振興に基づく農業生産基盤の維持強化のため、マーケティングとプロダクトアウトに基づく生産提案の他、生産安定と収量増を目指した施設化推進と災害に強い農業の普及推進、スマート農業の普及、優良種苗の安定供給を図ります。

販売力強化とコスト低減による農家手取り最大化のため、重点実需者への

総合品目供給と、付加価値を高めた商品開発により販売力を強化します。パレット輸送など効率的な輸送体系の構築で、物流コスト抑制を図ります。

また、生産資材・出荷資材の規格や原材料の集約や見直し、低価格モデル農機の共同購入、中古農機流通の拡充で生産コスト抑制を進めます。



あいさつをする雨宮会長



事業計画を説明する豊田副会長



事業計画の詳細を説明する小林県本部長

県産リンゴ加工品、機能性表示食品として商品化

JA全農長野が原料を供給しているリンゴ加工品2商品が、内臓脂肪を減らす効果があると報告されている成分「プロシアニジン」が含まれている機能性表示食品として販売開始となりました。

森食品工業(株)のリンゴ無調味乾燥品「毎日アップル(シナノゴールド)」(写真左)は、原料の特徴を最大限に生かすと同時に、プロシアニジンの含有量を高めるため、無調味乾燥法としました。

長野興農(株)のリンゴジュース「毎日アップル(ストレート)」(写真右)は、加熱によりプロシアニジンが減少することから、加熱処理回数を抑えて製造しました。

商品化にあたり、農研機構食品研究部門が中心となって進めている研究プロジェクトに、全農長野の試験研究機関である(一社)長野県農村工業研究所、森食品工業、長野興農が参画し、品種別の加工適正、製造方法や製造工程中のプロシアニジン量の変化、損失

度合いが明らかになりました。

2015年4月に施工された「機能性表示食品」制度では、農産物などの生鮮品や加工食品で機能性を表示することが可能となり、本制度の積極的な活用による国産リンゴ生鮮や加工食品での高付加価値化が期待されています。両商品とも、全農が運営する産地直送インターネット通販「JAタウン」内の全農長野「僕らはおいしい応援団」<https://www.ja-town.com/shop/c/3801>にて販売中です。



JR長野駅 在来線 改札機にステッカー広告の掲出を始めました

4月1日(水)より、農産物品目総合消費宣伝事業として、JR長野駅の在来線自動改札機に、本会の3つのロゴマーク(三ツ山マーク「JA全農長野」「信州力(しんしゅうりき)」が入ったステッカー広告の掲出を始めました。この改札口は、JR在来線(特急しなの含む)としての鉄道の利用者が主に使用するもので、通勤や通学を中心に1日の平均乗車人員は2万人以上です。また、改札口の前は、駅の東西をつなぐ連絡通路となっており、北陸新幹線を利用する場合でも善行寺方面や小布施・湯田中方面へアクセスする際に通過する場所です。

ステッカーのデザインは視認性を高めるため、三ツ山マーク・本会ロゴ・信州力をシンプルに配置しました。JA全農長野農産物PRキャラクターの「信州力」が、

子供たちへの親しみやすさも期待されます。今後も、長野県系統農産物のブランディングに繋がるよう、継続的に掲出します。

1. 期間

2020年4月1日(水)～
2021年3月31日(水)

2. 場所

JR長野駅
在来線改札口自動改札機



ステッカー広告を掲出した改札機

A-Board

生活課より

～旬の香り～ 美味しいお茶をあなたに!

現在、県下JAでは「エコープ新茶」の重点推進を実施しております。

新茶は4月下旬から5月中旬に茶摘みされた「一番茶」の新芽を使用しております。その年初めて萌芽した芽を摘む一番茶は、旨み成分であるテアニンが多く含まれており、二番茶と比較して苦みが少なくまろやかな旨みと味わいがあります。

新茶の時期にしか味わえないさわやかな香りをどうぞご堪能ください!



組合員のみなさまへ

新茶

品質と安心のこだわり

- ◆八十八夜前後のやわらかな新芽を使用しています。
- ◆真空+窒素ガス充填で新鮮さを保持しています。
- ◆定期的に残留農薬・添加物および発色剤の検査を実施しています。
- ◆品質管理の国際規格「ISO9001」を取得している工場で生産しています。
- ◆農家の茶畑から商品梱包までの生産履歴システムを確立しています。
- ◆製造元のハラダ製茶において、放射性物質の自主検査を実施しております。

摘みたてを新鮮パックした期間限定品です。

新茶 シルバー	新茶 白羽	新茶 ゴールド	新茶 グリーン	新茶 匠 (棒茶)
一番茶の新芽を使用した「旨み、こく、まろやかさ」が特徴の新茶です。	八十八夜前後の芽摘みしたばかりの一番茶の新芽を使用した、芳醇な香りとコク深いまろやかな味わい特徴です。	お茶の旨しさを芽の若さを決めず、一番茶の抽出したばかりの新芽で作った棒茶です。	おいしさと経済性を考えてブレンドしました。新茶の風味はそのまます。	数らかい芽の部分を含んださわやかな棒茶です。
1kg (167g×6本入) 【お届け予定時期：5月上旬頃】	500g (167g×3本入) 【お届け予定時期：4月下旬頃】	1kg (167g×6本入) 【お届け予定時期：5月中旬頃】	1kg (167g×6本入) 【お届け予定時期：5月下旬頃】	1kg (167g×6本入) 【お届け予定時期：5月下旬頃】
10,800円 (税込) (※専売価格)	11,300円 (税込) (※専売価格)	16,200円 (税込) (※専売価格)	8,640円 (税込) (※専売価格)	6,480円 (税込) (※専売価格)

※表示価格はJA全農長野希望小売価格です。

ご予約・お問い合わせは
最寄りの
JA または A・コープ店へ

信州 JA全農長野 × Chef. Do

まるっとおいしく!

信州 やさい キャンペーン

信州 きのこと キャンペーン

第1弾 応募締切～6月10日

まるっとおいしく!

信州やさい・出荷スタート キャンペーン

※キャンペーン詳細・レシピはこちらから

第1弾 応募締切～6月30日

まるっとおいしく!

信州・きのこ キャンペーン

※キャンペーン詳細・レシピはこちらから

PAGE TOP

「JA全農長野野菜花き課ときのこ課は今年度、それぞれが行うプレゼントキャンペーンのテーマやデザインを統一します。この取り組みは、野菜ときのこの販売促進の相乗効果を目的としています。」

「SDGs」(エス・ディー・ジーズ 持続可能な開発目標) や「サステナビリティ」(持続可能性) といった社会

を指す潮流を背景に、まるごと・全部分という意味を持つ言葉「まるごと」とキャッチコピーに据え、使い切りレシピや保存方法、栄養価など、野菜やきのこの食材としての魅力を消費者に、お得な情報として紹介します。また、レシビ開発にはテレビ出演なども多く主婦層の支持が厚い「ChefooDo」/五十嵐美幸シェフ(中国料理「美虎」)

が参加できるインスタグラムを使う「ウチで作ったよ! WEBフォトキャンペーン」を組み合わせ、店頭で商品を手にとっていただく機会を増やす取り組みとします。

長野県JAグループが農産物の総合供給基地である特性を活かし、有利販売につながるよう推進します。

ChefooDo

ChefooDoについて

卓越した料理の知識、知恵、見識と技術を携えた料理のプロが集った団体です。食育を意識することの大切さを広めること、日本の食文化や食材はもちろのこと、地域ならではの食材や伝統的料理を守り様々な世代に伝えていくことをテーマにしています。「食」の力で「笑顔」を増やしていきたいと願い活動しています!

五十嵐 美幸 シェフ
広東・四川・上海・北京料理の枠を超え、日本人の考える「日本の中国料理」を生み出すシェフです。中国料理「美虎」のオーナーシェフ。

JAは 食材 お薬 を ご自宅までお届けします!

新鮮・安全・健康・便利・こだわり JAまごころ宅配

JAまごころ宅配はご自宅の玄関先まで「食料品」「日用品」などをお届けする便利なサービスです。



宅配は週1～2回です

注文しらずで食材が自動的に届く
おまかせコース

「おまかせコース」は管理栄養士がバランス良くメニューを組み合わせてお届けしています。人気のアレンジメニューはお好みで商品の追加や取り消しができます。

おまかせコースは全4メニュー

チラシから選ぶコースもございます。

※詳しくは最寄りのJAにお問い合わせください。

「JAまごころ宅配」に関するお問い合わせ・お申込みは
☎026 (236) 2257
まごころ宅配 検索

明日はもっと健康に... クミアイ家庭薬

クミアイ家庭薬は、家庭に常備し、使用していただく「配置薬」です。安心して便利な配置家庭薬をぜひご利用ください。

クミアイ家庭薬は /
便利で安心、しかも無駄がない!

定期的にご自宅へ訪問
家庭薬配置員が健康に関する様々なご相談にお答えします

配置家庭薬は一番近い薬局さん
万が一のための救急箱として愛用されています

使ったお薬の分だけお支払い
ご利用がない場合はお代は一切いただきません

薬の補充・交換
お使いになった薬の補充と期限の近づいた薬は無料で交換します

「クミアイ家庭薬」に関するお問い合わせ・お申込みは
☎026 (236) 2256
受付時間 ■AM9:00～PM5:00 (土日・祝日を除く)

信州 JA全農長野
光と風と水のハーモニー

JA全農長野の事業現況▶

令和元年度 3 月末部門別実績表 (単位: 百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
野菜種苗センター		200	89	90
生産振興部計		200	89	90
米	穀	19,592	102	103
果	実	35,141	100	98
野菜花き		58,912	89	88
きのこ		19,570	89	99
営業		13,262	83	96
生産販売部計		146,476	93	94
包装資材		8,476	93	100
生産資材		14,998	99	97
農業機械		6,802	95	91
施設住宅		6,868	139	131
生産購買部計		37,143	102	101
畜産		12,903	102	94
三岳牧場		321	109	101
SPF繁殖センター		306	102	102
酪農		18,651	100	98
ハケ岳牧場		241	94	101
畜産酪農部計		32,422	100	96
燃料・ホームエネルギー		25,238	93	92
SS協同経営		10,578	94	93
生活		11,580	96	97
生活部計		47,396	94	94
長野県本部計		263,637	95	95

(内部販売高含む)

5月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
5/27(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	きのこ課
毎週火曜日 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドら☆☆カン内 「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品 に関する様々な情報 をお届け。リスナー プレゼントもあります。

今月のおすすめレシピ /
「きのこ牛肉のきんぴら」



- 材料(2人分)
- | | |
|--------------------|----------------|
| お好みの信州きのこ.....200g | 醤油.....大さじ1.5 |
| (ぶなしめじ・えのきたけ・エリンギ) | 砂糖.....大さじ1 |
| 牛肉(細切り).....100g | 酒.....大さじ1 |
| ピーマン.....1個 | 白ごま.....適量 |
| 人参.....1/3本 | ごま油.....大さじ1/2 |
| 鷹の爪.....1/2~1本 | |

※写真のレシピはぶなしめじ100g・エリンギ100gを使用しています。

- 作り方
- ①きのこは株元を切り落とし、お好みの長さにカットまたは小房に分ける。牛肉、人参は細切りに、ピーマンは種を取り細切りにする。鷹の爪は種を取り除き小口切りにする。
 - ②フライパンにごま油を熱し、牛肉を炒めたら、きのこ、ピーマン、人参、鷹の爪を加えて全体がしっとりするまで炒める。
 - ③②に醤油、砂糖、酒を加えて水分が少なくなるまで炒め、白ごまを加える。

■ワンポイント・アドバイス
彩りがキレイなきんぴらです。
お弁当や常備菜に。
レタス類で包むのもおすすめです。

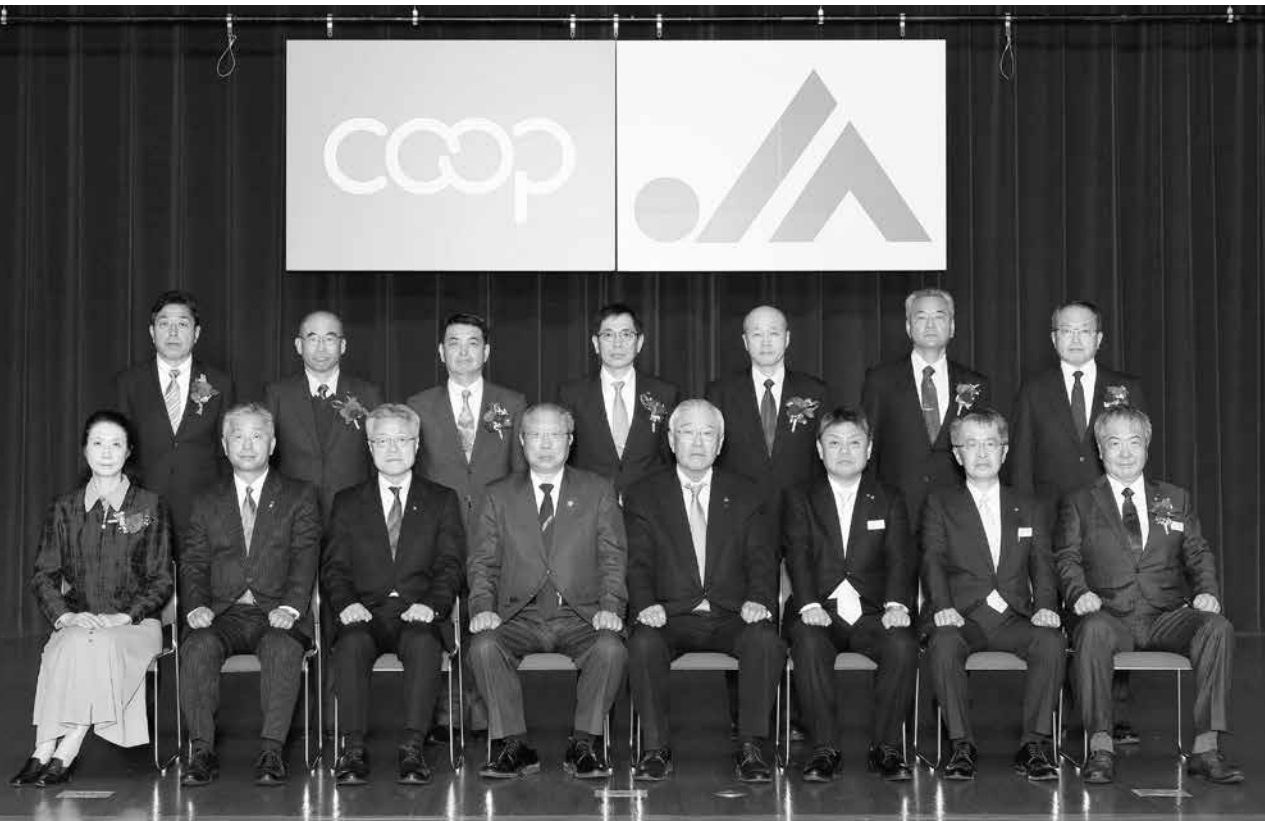
編集後記

世界的にも日本においても新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、政府は4月16日全国に緊急事態宣言を発令しました。日本における感染者数は4月20日現在で1万1850人、長野県では52人の状況ですが楽観視はできません。

全農長野としても県外販売事務所を優先に対策を講じてきましたが、在宅勤務に必要な機器が十分に行き渡らない状況です。テレワークやテレビ会議等を駆使した仕事のスタイルが広がっており、通勤や会議、組織的活動等の仕事の在り方など、本質的な働き方改革がすすんでいくのではないのでしょうか。

昨年の4月は低温傾向でありましたが、今年は3月より暖かく県内平均気温を更新していきそうとのこと。既に3月の平均気温が信濃町、飯山、白馬で観測史上最高を更新し、いずれも平均を3・4度から2・4度上回ったそうです。(長野地方気象台) 作物の苗・生育も早まりそうです。これから農繁期へと入っていきますが、新型コロナウイルス感染症予防対策はもとより、体調に十分気をつけてお過ごしください。

令和元年度 定年退職者紹介



■2列目左から 内田信一、平林一志、征矢有二、依田秀樹、山岸功、佐々木俊幸、松田正隆
■1列目左から 清水則子、湯本副本部長、小林県本部長、雨宮会長、豊田副会長、嶋田本部長付、岡村副本部長、荻原正雄

対象者は太字で表記

令和2年度 新採用職員紹介



■2列目左から 飯吉木乃実、丸山太一、山岸徹也、霜鳥幸志郎、横山文香、永田大貴、長谷部雄一
■1列目左から 新保裕也、青木管理部長、湯本副本部長、豊田副会長、雨宮会長、嶋田県本部長、岡村副本部長、川手人事課長、小林和博

対象者は太字で表記

ごつつあんです

信州の農畜産物



JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>



グリーンリーダー15月号 (毎月発行) 2020年4月20日発行 第492号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/ 高田武司 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3